

全日本大学開放推進機構主催

第10回 大学開放フォーラム

大学開放による 地域連携の推進に向けてどう取り組むか

開 催 要 項

1. 開催日時

平成23年10月1日（土） 13:00～17:20（受付は12:30～）

2. 開催場所

上智大学9号館349教室（東京都千代田区。JR四ツ谷駅下車、徒歩3分）

3. テーマ

大学開放による地域連携の推進に向けてどう取り組むか

4. 開催趣旨

平成17年1月の中教審答申「我が国の高等教育の将来像」の中で、「社会貢献は、教育、研究に続く第三の使命」であること及び「教育・研究機能の拡張としての大学開放（extension）」が強調されて以来、多くの大学・短大においては、社会貢献や地域連携を担当する部署が設置されて様々な活動を行っています。こうした活動を一層推進していくためにどのようにしていくべきかを参加の皆様と共に考えたいと思います。

5. 構成

<敬称略>

(1) 主催者挨拶（15分） 13:00～13:15

全日本大学開放推進機構理事長・上智大学名誉教授 香川 正弘

(2) 基調講演（45分） 13:15～14:00

「地域における大学・短大と商工会議所の連携強化について」

日本商工会議所流通・地域振興部長 栗原 博

（全国の商工会議所との連携のもとに、企業活力の増進、魅力ある地域経済社会の創造に向けた様々な事業活動を積極的に展開している日本商工会議所は、立命館大学や法政大学との産学連携協定を締結しているほか、学生のキャリア形成支援などを行っています。また、各地の商工会議所では、大学と連携した地域活性化、まちづくり、産業振興などについての取り組みを行っており、公開講座も実施しています。その反面では、大学と商工会議所との連携

は、学部教育や課外教育とはなじむのに、大学開放とはなじまないという指摘もあります。そこで、商工会議所における大学・短大との連携活動を通じて得た大学・短大への期待及び大学開放への期待を話していただきます。）

(3) 提 言 (40分) 14:00～14:50

「大学開放を地域連携に生かす方策」

全日本大学開放推進機構理事長・上智大学名誉教授 香川 正弘

(かつて中教審大学部会専門委員として、中教審において大学開放の必要性を主張した経験を有する講師が、大学・短大は「社会貢献」や「大学開放」にどのように取り組めばよいか、また、どのように「地域社会」や「経済社会」と連携すればよいかについて述べ、特に大学開放センターの職員は歴史・文化・産業など地域に関する知識を幅広く有することと地域のニーズを吸い上げて大学と地域をつなぐ専門職を置く必要性について提言します。)

(4) 休 憩 (10分) 14:50～15:00

(5) 特別報告 (30分) 15:00～15:30

「東日本大震災から立ち上がって半年—さらに強くなった地域との連携」

桜の聖母短期大学学長代行

柴田香代子

(未曾有の大地震、大津波に加えて原発事故が重なった東日本大震災から半年経ちました。今なお、原発事故による放射能の被害におびえる福島市にある桜の聖母短期大学は、「大学開放講座」を毎年春、秋共に約110以上と短期大学屈指の講座数を有しています。また、東日本大震災で保護者を失った青少年の教育のために東日本大震災ともしび会「桜の聖母里親制度」をたちあげました。さらに、同短期大学がメンバーであるアカデミア・コンソーシアムふくしまは「復興ビジョンにおける高等教育の重視に関する要望書」を全会員一致で福島県知事に提出しました。東日本大震災の被害から立ち上がった桜の聖母短期大学における大学開放による地域連携の現状を話していただきます。)

(6) 活動報告 (30分) 15:30～16:00

「静岡大学における地域連携推進への取り組みの現状と課題」

静岡大学地域連携協働センター教授・生涯学習教育研究センター教授

阿部 耕也

(静岡大学では、生涯学習・地域社会・行政・文化活動等に関連して大学が地域の諸組織・団体等と連携して、公開講座、開放授業、人材育成、展示公開、専門知識提供、課題解決、国際交流等多岐に渡って展開しています。また、平成20年に設置された地域連携協働センターは、生涯学習教育研究センター、キャンパスミュージアム、地域社会文化研究ネットワークセンター、防災総合センター、高柳記念未来技術創造館の5機関で構成されており、トータル的な活動をしています。静岡大学では、こうした地域社会と係わる活動を通じて教職員が新たな教育・研究のヒントを得たり学生が成長する機会となり得る双方向の関係(連携)に移行してきていると言われていています。このような静岡大学における地域連携を推進させる取り組みの現状と課題などについて、地域連携協働センターの活動を中心に話していただきます。)

(7) 議論・質疑応答 (77分) 16:00~17:17

「大学開放による地域連携をどう推進するか—その現状と課題をもとに」

コーディネーター：全日本大学開放推進機構アドバイザー・京都大学名誉教授

上杉 孝實

(コーディネーターが会場の方を無作為に指名して、所属先における大学開放による地域連携の現状と課題などを話していただき、それをもとに大学開放による地域連携を推進する方策を参加の皆様方と一緒に議論してまいります。また、講師・発表者に対する質疑も行います。参加される方は、あらかじめ所属先における大学開放による地域連携の現状と課題などを用意してお越しただけると幸いです。)

(8) 閉会挨拶 (3分) 17:17~17:20

全日本大学開放推進機構副理事長

渡邊 一雄

(9) 情報交換会 (120分) 17:30~19:30

※参加希望者のみ。情報交換会のみ参加も可能です。

※会場：スクワール麹町 (予定)

6. 募集定員 80名 (申込状況によっては若干募集定員数を変更する場合があります。)

7. 参加費 (1) 本機構会員 (法人会員・個人会員共) 1名につき 2,000円

(2) 本機構会員以外の方 1名につき 7,000円

<情報交換会参加費> 参加希望の方のみ 1名につき 4,000円

8. 申込方法

「大学開放フォーラム参加申込」と明記し、下記①~⑤の事項を記載して、下記事務局宛にe-mailまたはFAXでお申し込みください。

①参加者氏名 (ふりがなつき)

②勤務先・部署・職位

③連絡先 (勤務先<または自宅>の住所・電話番号・e-mail)

④情報交換会参加の有無

⑤参加者名簿への記載希望の有無 (後記<注>2をご覧ください)

*お申し込みを受信後、メールまたはFAXで受け付けしたことをご連絡し、その際に「参加費振込のお願い」をいたします。

9. 申込先

全日本大学開放推進機構 事務局

e-mail address: infouej@gmail.com / FAX番号: 03-3936-4017

10. 申込締切 平成23年9月26日(月) *定員に達し次第、受付を締め切ります。

11. 参加費・情報交換会参加費振込先

参加費及び情報交換会参加費は、下記宛に銀行振込にて納付くださいますようお願いいたします。

振込先 三井住友銀行 麹町支店 (店番号218)

口座番号 普通預金 8597971

口座名 全日本大学開放推進機構 代表 香川正弘

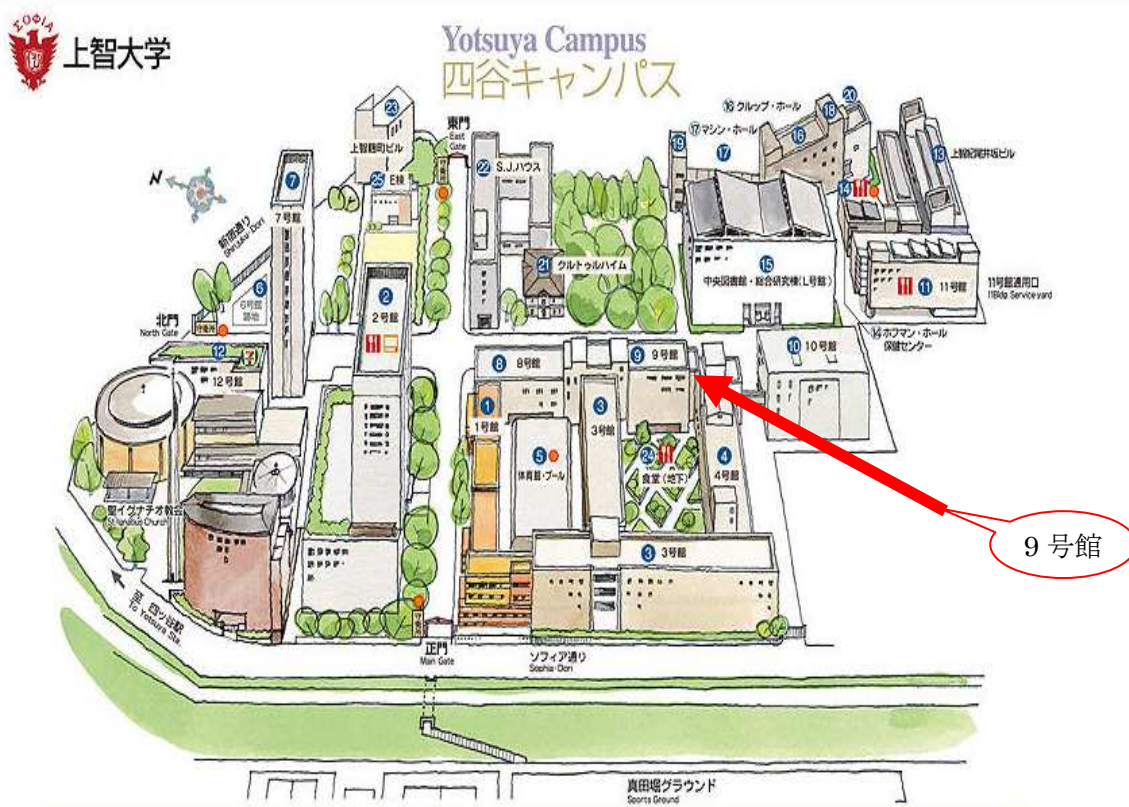
※参加費の払い戻しはいたしません。申し込まれた方のご都合が悪い場合は、代理の方が出席されても結構です (ただし、事前に事務局にその旨をご連絡ください)。

※参加者証は発行いたしませんので、当日研修フォーラム会場受付へお越しください。

<注>

1. お申し込み時に提示いただいた個人情報は、次のような場合に使用させていただきます。
 - ①本フォーラム運営上の連絡が必要な場合。
 - ②本フォーラムの講師または発表者が講演または発表内容等を検討する場合。
 - ③今後、本機構が開催するセミナーやフォーラム等の開催案内を送付する場合。
2. ただし、上記以外に、当日、参加者相互の情報交換や交流に役立てていただくために、**氏名・所属先・職位のみ**を記載した参加者名簿を配布する予定です。
この参加者名簿への記載をご希望にならない場合は申込時に前記申込方法⑤でその旨をお申し出ください。記載を希望されない方を除いて名簿を作成し、名簿に記載した方にのみ配布いたします。希望者が少ない場合は取り止めます。

<会場案内図>



※地図上の○(オレンジ)は、AED(自動対外式除細動器)の設置場所です。正門・北門・東門の各守衛所、(5)体育館(プール)、(14)保健センターの5箇所に設置しています。

●全日本大学開放推進機構 事務局

〒175-0083 東京都板橋区徳丸5-29-2

電話：080-2059-3268 / FAX：03-3936-4017

e-mail address : infouej@gmail.com